

通 教 月 報

診 療 情 報 管 理 研 究

令和 4 (2022) 年 7 月号

編 集 武田 隆久
発 行 人 〒102-8414 東京都千代田区三番町 9-15
一般社団法人 日本病院会 教育部教育課
TEL 03-5215-6647 (受講生専用)
FAX 03-5215-6648 (受講生専用)
URL <https://jha-e.jp/>
受付時間 10:00~17:00
(ただし、土・日・祝祭日、年末年始は除く)
発 行 日 毎月 1 日



医療、医学は科学であり、論理的に考える

山内 一信

東員病院・認知症疾患医療センター 院長
基礎課程小委員会 協力者
日本診療情報管理学会 特別会員

通教生の皆さん、日ごろは診療情報管理士を目指して勉強に勤しんでおられることと思います。ただ皆さんは、どうしてこんなに覚えることが多いのかとうんざりしていると思います。確かに医学系の勉強は覚えることが多いですね。でも、覚えなければなりません。特に医学を体系づけている基本的な用語は正しく理解し、覚えておく必要があります。それには何度もテキストを読む事です。それでも理解しづらいときは Web 検索をするとか、先輩、上司に尋ねることも大事だと思います。

授業科目は基礎科目と専門科目から成り立っており基礎科目は所謂、医学・医療に関する科目です。各臓器別に疾患を勉強しますが、大事なことはテキストを読んで丸暗記するだけでなく、疾患の成立過程を原因、経過、治療、転帰から理解することです。医学は科学ですので、論理的に説明することが出来ません。例えば、甲状腺障害ならば、病的には甲状腺の機能低下・亢進、炎症、腫瘍がある。各病態で甲状腺ホルモンは上がるのか、下がるのか、不変なのか、その場合どんな症状が出現し、診断法では何を証明するのか。そしてどう治療するのかを筋立てて理解することです。

分厚いテキスト中の全疾患を理解するとなると大変です。勿論テキストを読み切ることは大切ですが、全てを挑戦することは大変ですので、重点分野とか領域をしばることも大切です。e-ラーニングで勉強されていると思いますが、e-ラーニングで扱われている疾患は重点領域を絞る上でヒントになります。

専門科目は診療情報や医療の管理に関するもの、疾病統計分類、医療統計などです。ここではマネジメントや制度を扱うことが多いです。この領域では、例えば保険制度もそうですが、体系的な理解が必要です。システムの大きな目的は何か、それを成り立たせている要素は何で、どういう関係で結ばれているのかを整理し大局的に考えることです。例えば医療保険制度とは皆が医療を受けるときに助け合うシステムです。そのためには保険料が必要で、保険料が不足ならば税金を投入する必要があります。保険の構成は企業に勤務している人、農業・自営業の人、後期高齢者の人などに区分けする必要があります。ただ、医療保険には何と何という保険があるという丸暗記ではなくて系統的、体系的に成り立っていることを理解することが大切であると思います。

この通教は資格を取ることが第一目標と思いますが、その先には診療情報管理士として良質の医療を支えるための仕事が待っています。大きな目標に向かって、診療情報管理士に合格できるようにがんばって下さい。ご健闘を祈ります。

